

研究結果

1872年から1945年までの半世紀以上は、日本人が続々と中国東北地方に移住していた。中でも、300人あまりの日本人作家がここに来ていた。とくに、日本軍国主義者が「満州国」という傀儡政権を成立した14年間は、数多くの日本人作家はさまざまな理由で、「満州国」の首都である「新京」に移住して、その間に、数十種にのぼった日本語文芸雑誌は「満洲新京」に移住した日本人作家によって創刊された、数多くの詩歌・小説・随筆・劇作を載せ、特定の歴史時期における日本人の生活の鏡として、日本近代文学史と殖民主義文学史において重要な地位を占めるべきです。戦後は、すでに60年あまり過ぎ去り、この時代の歴史も次第に遠く去っており、多くの当事者もこの世を去っています。これらの史料は歳月が経過し史料の破損が進むにつれて、さらに貴重になっていきます。このような背景の下で、私たち後継者が強烈な歴史主義精神を持ち、この時代の歴史を見直し、再び研究し、掘り下げなくてはなりません。

本研究グループの成員は、この課題に関する資料を収集するために、中国の遼寧省・黒竜江省・吉林省・内蒙古、北京の各地及び日本東京・大阪・京都・名古屋の大学・研究機関の図書館を数回訪れ、資料を検索しました。本研究は「芸文」、「我らが文学」、「黎明」、「高粱」、「満洲浪漫」、「満洲公論」など「満州新京」時代に出版した日本語文芸雑誌と「満洲文芸家協会」など文学組織を中心とした研究対象にして、さらに「満洲」の歴史的・文化的な産物として登場し、殖民主義支配の多次元的文化環境の下で、「満洲新京」を舞台として、日本殖民主義の拡張期における「満州国」の宗主国の日本人作家の創作活動に示された植民地心境と支配された民族からの影響を分析し、「満洲新京」時代における日本語文学の創作のパノラマを描きだし、文化侵略の背景の下における殖民主義文学の特徴を新たな角度からまとめ、世間に忘れ去られた歴史の価値を明らかにする活動を推し進めようとしております。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等) :

「『満州新京』時代における日本人作家の創作」、劉春英、「満洲新京」時代における文化シンポジウム、2007年10月23日、東北師範大学。

『雑誌「芸文」のについて』、呂元明、「満洲新京」時代における文学シンポジウム、2007年10月23日、東北師範大学。

『「満映」映画について』、呉佩軍、「満洲新京」時代における文学シンポジウム、2007年10月23日、東北師範大学。

『「大日本主義」と「満洲移民」』、張輔林、「満洲新京」時代における文学シンポジウム、2007年10月23日、東北師範大学。

「牛島春子と『満洲』」、劉春英、全国日本文学国際シンポジウム、2008年6月22日、大連外国語学院。

『「満映」と日本の大東亜文化侵略』、呂元明、全国日本文学国際シンポジウム、2008年6月22日、大連外国語学院

『「満映」についての中日米三国の研究』、呉佩軍、全国日本文学国際シンポジウム、2008年6月22日、大連外国語学院

『「帝国」外延の検証——中国における日本文学研究の独自性と可能性について』、劉建輝、全国日本文学国際シンポジウム、2008年6月22日、大連外国語学院。

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等) :

①劉春英：「『満州新京』時代における日本人作家の創作」（『日本学論壇』2007年第1期に掲載）

②劉春英：「『満州新京』時代における日本語文学雑誌」（『日本学論壇』2007年第4期に掲載）

③劉春英：「『大東亜戦争』時代における日本殖民主義政策の諸相」（『日本学論壇』2008年第1期に掲載）

④劉春英：「『大アジア主義』と『日本主義』」 《日本学論壇》2008年第3期に掲載

⑤劉春英：「牛島春子と『満洲』」 《日本学論壇》2009年第1期に掲載

（この文章は著述の『日本女性文学史』（商務印書館2009年）に収録された。『日本女性文学史』はもうすぐお送りします）

⑥呉佩軍：「満州映画制作所の劇映画としての『迎春花』の主題についての考察」 『華章』2009年第3期に掲載

⑦ 呉佩軍：『「満映」についての中日米三国の研究』、吉林大学学報2009年増刊

⑧劉建輝：『芸文』（満州時代に出版された雑誌）第一巻の復刻解説（2007年6月に日本ユマニ書房で出版）

⑨呂元明：『雑誌「芸文」の前と後についての総説』、（満州時代に出版された雑誌）第一巻の復刻に掲載、2007年6月に日本ユマニ書房で出版

⑩劉春英：『芸文』（満州時代に出版された雑誌）第五巻の復刻解説、2007年6月に日本マニ書房で出版

⑪劉建輝：『芸文』（満州時代に出版された雑誌）第九巻の復刻解説、2007年6月に日本マニ書房で出版

⑫劉建輝：『芸文』（満州時代に出版された雑誌）第十三巻の復刻解説、2007年6月にユマニ書房で出版

⑬劉建輝：『芸文』（満州時代に出版された雑誌）第十五巻の復刻解説、2007年6月にユマニ書房で出版

⑭劉春英：『芸文』（満州時代に出版された雑誌）第十八巻の復刻解説、2007年6月にユマニ書房で出版

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等) :